

“鮮度一番！”

No.169

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1～2 / 明日への一步 ～宮城からの復興だより～第10回
- 2 / ひとことコラム
- 2～4 / 運営委員会で話されたこと
- 4 / 第18回総会の開催について
- 5 / 「ちょこっと能楽話」第3回
- 6 / 参加報告 編集後記

明日への一步

～宮城からの復興だより～

第10回

「こども目線で復興支援・輪島の子どもたち」

皆さんは、3月25日と聞いて、何の日か思い当たるでしょうか？

3月25日は、6年前に、能登半島地震が発生した日です。石川県の穴水町、輪島市、七尾市で、この地震の最大震度である震度6強、富山県そして新潟県でも、震度5弱の揺れが観測されました。

今年のこの日、能登半島地震で大きな被害を受けた輪島市から、輪島市児童センターのジュニアボランティアグループの子どもたちが宮城にやって来ました。能登半島地震後、輪島市内の仮設住宅で手品やダンスなどのお楽しみ会を開催していた子や、地域でのボランティア活動に参加している子などなど・・・小学生から高校生まで、明るくて元気いっぱい18人です。東日本大震災後、「自分たちにも何かできることはないだろうか？」と募金活動を行ったりしてきましたが、「実際に足を運ぼう」「自分たちの目で今の東北を見て、見たこと感じたことを発信しよう」ということになり、春休みを利用して宮城を訪ねてくれました。

最初に訪れたのは、亘理町荒浜地区。この日の翌日にオープンする仮設児童館で地区の被害状況を聞いた後、津波の被害を受けたまちを実際に歩きました。歩きながら、「ここは元々どんなまちだったんだろう」「家を建て直すってどんなに大変なことなんだろう」と色んな想像をする子どもたち。今は跡形もない荒浜中学校の前まで来たときに、能登半島地震の発生時刻9:41になり、皆で輪島の方向に向かって黙とうをしました。元々の児童館の跡地まで歩いてくると、落ちているおもちゃのかけらなどを見つめながら、ここにあった暮らしに思いを馳せました。「何も言えない・・・」と涙ぐむ子も。実際に自分の足で歩いて、目で見る光景に、心が揺さぶられたようでした。

その後、名取市閑上地区を視察してから、仙台市太白区の東四郎丸児童館へ。輪島と仙台の子どもたちの交流タイムです。輪島の子どもたちが手品を披露したり、仙台の子どもたちと一緒にダンスを踊ったり・・・最初はお互い緊張していた様子でしたが、だんだん打ち解けてきました。最後に巨大な新聞紙ドームを作り、中に入った時には大はしゃぎ。目一杯ちびっこの相手をした高校生たちは、ぐったりしてしまうほど・・・でも、その顔はキラキラした笑顔に満ち溢れていました。

この日の最初に、私が輪島の子どもたちに伝えたことは、「震災で大きく傷ついた宮城だけど、良いところ、素敵などころもたくさん見つけて発信してほしい」ということでした。輪島の復興を支えてきた子どもたちの目に、今の宮城はどんな風に映ったのか・・・レポートを心待ちにしているところです。子どもは子どもなりに、今の地域や大人を見て、感じていること、考えていることがたくさんあります。これからもさまざまな子ども視線の取り組みを、支えていきたいと思えます。

支援者のための支援センターTOMONY 事務局
一般社団法人コミュニティー・4・チルドレン防災・福祉学習コーディネーター
菅原 清香

・・・ひとことコラム・・・ **ただ今純愛中？**

兼古和枝

「お願いだから化粧して。」と主人に言われ、私は結婚してから化粧を始めました。主人に嫌われなくなかったからです。主人は青いシャドウのサーファーギャルが大好きな人でした。妹のダンナ様みたいに、「素顔の君が好き。」って言われたら、ず ～っとノーメイクでいたと思います。あれから30余年！努力の甲斐あって(?)夫婦の危機もなく、4人の子ども達も無事成人しました。主の居なくなった子ども部屋を見て、ひと時代が終わったと感じました。

ある日、子ども達が幼かった頃の思い出に浸りながら、子どものベッドで寝てみました。すると主人のイビキや夜中のトイレで起こされることなく、爽やかな朝を迎えることができました。私だけかと思ったら、主人も気兼ねがなく快眠だったというではありませんか！夫婦は一緒に寝るものと思っていたが、お互い年をとったら、健康の為に安眠が一番という結論になり、円満家庭内別居が決定しました。何だか妻を定年退職して尼さんになったように、清々しい気分でした。「繁殖期」が終わったので、習慣になっていた化粧をやめました。今さら主人に嫌われることはないでしょう。不思議なことに、寝室を別にして化粧をやめたら、主人と対等で純粋な関係になった気がしました。お見合いで「ノー」と言えずに結婚した相手ですが、学びのタネ満載で、パートナーとして飽きません。これから純愛を深めていくのも悪くないと思っています。呉々も夜中のトイレで倒れないでねと願うばかりです。

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成25年4月3日(水) (AM9:30~11:30)

場 所 男女共同参画センター



「発見！しただの魅力～ひろこの突撃レポート～」を書いて下さった近藤洋子さんが、亡くなられました。「大人の女性のためのしただツアー」では、天性の職とも思えるガイドぶりでしたので、本当に残念でなりません。ご冥福をお祈り致します。

次回の運営委員会は、5月1日(水)9:30～男女共同参画センターです。どなたでもおいで下さい。

1. (財)新潟県女性財団定期講演会「変わるお葬式、消えるお墓」参加報告

上記講演会へ、当会より5名が参加しました。

冒頭、講師の小谷みどりさんは、「ポックリ死にたい人は、手を挙げて？」から始まり、テーマは重いけれども楽しく考えさせられるお話しでした。お葬式には、お金がかかると思っていたのですが、自分でお葬式をデザインすることで、いかようにも安く(?)上げることが出来るようです。ちなみにポックリ死にたい人は、「死んだ瞬間に全てを他人に見られるのだから、いつもきれいなパンツを履き、秘密を持たない品行方正な生き方をしなさい。」とのことでした(笑)。参加報告を6ページに載せましたのでお読み下さい。

2. 総会について

来年度の活動計画、予算、当日の役割分担等話し合いました。

記念講演会の講師を引き受けてくださった三条商工会議所の齋藤弘文会頭は、人を引きつけるお話しをされる方ですので、是非大勢の人に聴いて欲しいなと思っています。4ページに開催の案内を載せましたので、皆様、総会へのご出席をお願い致します！

3. 審議会等について

安室さんと西方さんより下記の報告がありました。

●第3回三条市介護保険運営協議会報告

安室久恵

3月22日、第3回三条市介護保険運営協議会が市役所第2庁舎で開かれた。この日の議題は(1)高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画 平成24年度実施状況について (2)報告事項 ①介護サービスの基盤整備 ②各運営部会の会議内容など。質疑応答の後、すべて了承された。今後は次の第6期に向けて高齢者調査が計画されている。

●平成24年度第3回三条市男女共同参画審議会の報告

西方久子

平成25年3月21日、第3回三条市男女共同参画審議会が三条東公民館で開かれた。

この日の議題は、①男女共同参画推進プラン実施状況(1月末現在)について、74事業を目標達成度や男女共同参画の視点があるか?などを重視して4段階で評価した。次年度は、各事業の計画時点から、男女共同参画の意識や視点が設定されていること、事業の工夫・目標値・男女比率も含めたより具体的な実施状況であることなど、委員6人(定員10人中)ではあったが活発な意見・検討を行った。②男女共同参画推進担当課である平成25年度の市民窓口課事業について、「ひとひとフォーラム」「男女共同参画推進フォーラム(又エック・仮称)」など、担当者から説明があった。

又エック研修(3日間)が変わるようです?元気な三条女性会議の皆さん!三条市のマイクロバスを利用して、楽しく学び、一緒に自分磨きしませんか!!

《予定日時：平成25年8月22日(木)～4日(土)です》

4.

燕三条エフエム放送(ラジオは〜と 76.8MHz)“ワイワイ女性ひろば”

- 本放送 毎週木曜日 11:30~12:00 ●再放送 毎週水曜日 19:30~20:00

今年度4月放送分を収録しました。

4月のテーマ 「脱・男はつらいよ」

- ①男の地域デビュー ②男の地域デビュー その2
③「男縁」で支えあう ④めざせ“ダン爺”

メンバー：宇治いさむ、早川もとよし、野崎ミチコ、田辺とも子

少子高齢化時代において、団塊世代の働きがあらゆる分野で期待されています。定年退職した男たちを「ぬれ落ち葉」とか「わしも族」などと呼んだ時代がありました。そのような不名誉を返上し、会社のタテ型人間関係から解放され、妻からも自立して、地域社会に必要とされる、男の底力を見直す機会になる4週です。どうぞお聴きください。

*放送時間が変わりました。当会ホームページからも聴くことができます。

(田辺)

5.

その他

◆さんじょう白熱教室、4月のテーマは「生きがい」です。毎月20日、三条東公民館で午後7:00~9:00開催中です。参加費無料、老若男女どなたでもお待ちしています。(お問い合わせ 米田美智子 TEL34-5693)

第18回三条女性会議総会の開催について (ご案内)

春暖の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素から当会運営に格別のご支援、ご協力をいただき深く感謝しております。

さて、下記のとおり総会を開催致します。どうぞ万障繰り合わせの上、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

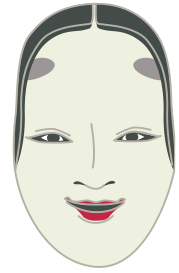
- ★日 時：**5月26日(日)** 午後5:00~6:00 総会
6:00~7:00 記念講演会
7:00~9:00 懇親会
- ★会 場：まるい(三条市旭町1-5-16 TEL 32-2208)
- ★記念講演会：講師 三条商工会議所 会頭 斎藤弘文様
- ★会 費：4,000円(当日会場で申し受けます)

※尚、出欠の有無を同封のハガキにより**5月15日**までにお出し下さい。

ちょこっと能楽話 第3回

隅田川

川瀬弓子



室町時代に現在の能楽の形になったといわれる能楽は、今も定期的に全国各地で四季折々上演されています。決して古くさいものではなく現代人の心に響くものがあります。

今回は「隅田川」をご紹介します。世阿弥の子元雅昨といわれる名曲中の名曲です。一昨年三条でお習いしている囃託師範の五十嵐エイ先生が素人ながら水道橋能楽堂で見事に演じられました。上演時間約1時間、会場が舞台と一体になり息をのむ緊張感にひたったことは未だにこの体が覚えています。

能楽は観る聞くだけでなく体感するのです、不思議です。

人買いにさらわれた梅若丸を探し歩き京都から武蔵国隅田川のほとりまで来た母親の物語です。能楽では「狂女もの」といわれるジャンルですが今の「狂」のイメージとは異なります。私はこの場合、最愛の子を失った母親が悲しみにうちひしがれ一途に我が子を探し歩いている、という有様だと解釈しています。折から隅田川では里人が大念仏を唱え昨年そこで亡くなった子どもを吊っている最中です。聞くと、都から人買いに連れてこられた子どもが病に倒れ、無残にも人買いに置いていかれ、終には亡くなってしまったという、里人は哀れに思い塚を立てたという。母も一緒に念仏をとこなしていると塚の中から子どもの念仏が聞こえ、亡霊が現れる、母はかき抱こうとするが幻のため触れることもできず、後は茫茫たる草原である、というあらすじです。

舞台では子方（コカタと読みます子どもが演じます）が梅若丸を演じますが、母親と触れてはならない形（カタと読みます）をけなげに演じます。母親が主役でシテと言います。

シテは面（オモテ）をつけていますから視野が狭く子方の動きはよくわかりません。子方が定石どおり動かないとシテとぶつかったり離れすぎたりしますから、子どもながら気をぬけない舞台となります。

人買いのエピソードは能楽にはよく出てきます、室町時代には多かったのでしょうね。また縁もゆかりもない里人の優しさもよく描かれています。ぜひ能楽の物語を楽しんでください、生活のヒントになるかもしれません。

今回はここまでとさせていただきます。

【参加報告】

講演会「変わるお葬式・消えるお墓」に参加して

小柳 早苗

桜の開花も目前の3月23日、ユニゾンプラザで「変わるお葬式・消えるお墓」の講演会に参加することが出来ました。年齢を重ねるとともに、頭の隅にこのことを意識していました。最近では社会の変化につれ、個人の考え方も変わってきたようで、昔からの慣習、葬式や墓などについてもその対応が自由に考えられつつあります。

講師の小谷みどりさんが、こうした現状について全般的な情報やそれに伴う新しい制度など、詳しく、熱心に話されました。新所帯（アラショタイ）だったわたしは、この件に関しては体験も少なかったのですが、多くのことを学び、納得しました。

今後、葬儀などのあり方をわきまえた上で、元気な「今すぐ」、最後の予定事項を自分なりに作成しておくことにしました。煩惱は多けれど、エネルギー不足気味なわたしですが、周囲の人の負担にならない範囲で、最後は自然にそって、少しでもわがままをお願いしてみようかなあ……と思っています。

三条女性会議の皆さんはどんなふうにお考えになりますか？

編集後記：

いつまでたってもこたつを片づけられずにいるのは、私だけ？ 足踏み状態の春に、すじまきを終えたビニールハウスの中の苗たちは、いっこうに芽を出す気配を見せません。ゴールデンウィークに田植えができるのかちょっと心配です。それでも桜やレンギョウ、梅に木蓮などが咲き誇って、気持ちをウキウキさせてくれます。そんななか、野崎さんからの突然の訃報にちょっと言葉をなくしてしまいました。近藤さん、今年の下田の桜は観られたでしょうか・・・合掌



編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>